

事項	ぶどう「サニールージュ」では、開花前の摘心を省略することにより品質の向上と熟期が早まることが期待できる		
ねらい	ぶどうでは、結実を確保するために開花前に摘心を行う。しかし、「サニールージュ」はジベレリン処理により結実が確保されることから、開花前の摘心をしない栽培方法を検討したところ、熟期が早くなり、高糖度で着色に優れる傾向があったため参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 開花前の摘心をしないことで、熟期が5～7日程度早まる。また、果実品質（糖度、着色）の向上が図られる。</p> <p>2 開花前の摘心は行わず、結果枝は伸長に合わせて架線に結束する。その際、巻きひげと基部から10節程度までの副梢は摘除する。結果枝の長さが180cm程度（葉枚数19枚程度）になったころ（露地栽培では7月上～中旬、無加温ハウス栽培では6月上～中旬）、葉数を18枚程度残して結果枝の先端を軽く摘心する。その際、結果枝の10節以降の副梢は1～2葉残す。</p> <p>3 ジベレリン処理が1回の場合（平成20年度指導奨励事項・指導参考資料等：ぶどう「サニールージュ」のジベレリン処理は2回から1回に削減できる）でも、この新梢管理法により同様の結果が得られる。</p> <p>4 この方法で新梢を管理した場合、収穫時の結果枝長は200cm程度、葉枚数は21～22枚程度となる。</p>		
期待される効果	<p>1 熟期が早くなることにより、無加温ハウス栽培では8月上旬、露地では9月上中旬の収穫が可能となる。</p> <p>2 糖度が高く、着色に優れた高品質の果実生産が可能となる。</p>		
利用上の注意事項	<p>1 開花前に摘心する栽培法と比較すると、結果枝が長く副梢も多くなり、葉が混み合う。列間が狭い場合は作業上管理が難しい。</p> <p>2 樹勢が弱いと、1粒重及び果房重が軽くなる場合があるので、適切な肥培管理を行う。</p>		
担当部署 (担当者名)	青森県農林総合研究センターりんご試験場 栽培部（菊池一郎、川嶋浩三）	対象地域	県下全域
発表文献等	平成19年度 青森県農林総合研究センターりんご試験場試験研究成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 露地栽培における開花前摘心の有無による熟期の違い (平成19年 青森農林総研りんご試)

開花前摘心	糖度(%)		酸度(g/100ml)		着色指数
	9月12日	9月20日	9月12日	9月20日	9月20日
無	19.0	19.4	0.59	0.50	3.0
有	17.2	17.6	0.68	0.57	2.0

(注) 栽培管理：指導要項に準ずる（ジベレリンは2回処理）、仕立て法：両側整枝
供試数：20果房、着色指数：全面着色；3、2/3程度着色；2、1/2以下の着色；1

表2 露地栽培における開花前摘心の有無による果実品質 (平成16～19年 青森農林総研りんご試)

開花前摘心	試験年次	収穫日	果房重(g)	1粒重(g)	糖度(%)	酸度(g/100ml)	着色指数	無核率(%)
無	平成16年	9月17日	528g	8.0g	18.3	0.51	(95%)	100%
	17年	9月18日	367	7.1	18.3	0.53	2.8	100
	18年	9月18日	511	7.6	16.7	0.62	2.1	100
	19年	9月20日	333	6.8	19.0	0.52	2.9	100
	平均	—	—	435	7.4	18.1	0.55	2.6
有	平成16年	9月17日	425	8.2	17.7	0.53	(66%)	100
	17年	9月18日	482	6.9	17.2	0.53	2.0	100
	18年	9月18日	461	7.0	16.8	0.54	2.2	100
	19年	9月20日	383	8.6	17.4	0.55	2.5	100
	平均	—	—	438	7.7	17.3	0.54	2.2

(注) 栽培管理：指導要項に準ずる（ジベレリンは2回処理）、仕立て法：両側及び片側整枝
供試数：20果房（19年は40果房）、平成16年度の着色指数は着色面積

表3 無加温ハウスにおける開花前摘心の有無による果実品質 (平成19年 青森農林総研りんご試)

開花前摘心	収穫日	果房重	1粒重	糖度	酸度	着色指数	無核率
無	8月8日	197	4.7	21.1	0.50	3.0	100
有		305	5.8	18.5	0.59	3.0	100

(注) 栽培管理：指導要項に準じる（ジベレリンは2回処理）、供試数：20果房、単位は表1と同

表4 開花前摘心の有無及びジベレリン処理回数による果実品質

(平成19年 青森農林総研りんご試)

	開花前摘心	ジベレリン処理	果房重	1粒重	糖度	酸度	着色指数	無核率
露地	無	1回	323g	6.1	19.7	0.52	3.0	100
		2回	333	6.8	19.0	0.52	2.9	100
	有	1回	384	8.5	18.1	0.50	3.0	100
		2回	383	8.6	17.9	0.55	2.5	100
無加温ハウス	無	1回	251	4.2	20.0	0.50	3.0	100
		2回	197	4.7	21.1	0.50	3.0	100
	有	1回	322	5.9	18.5	0.59	3.0	100
		2回	305	5.8	18.5	0.59	3.0	100

(注) 供試数：20果房、単位は表1と同

表5 開花前摘心の有無による結果枝長と葉枚数

(平成19年 青森農林総研りんご試)

開花前摘心	露地栽培						無加温ハウス栽培								
	結果枝長(cm)			葉枚数			結果枝長(cm)			葉枚数					
	開花前	結実後	収穫時	開花前	結実後	収穫時	開花前	結実後	収穫時	開花前	結実後	収穫時			
無	6月	7月	9月	6月	7月	9月	6月	7月	9月	6月	7月	9月	6月	7月	9月
有	53.7	154.9	202.1	8.4	17.5	21.4	84.5	172.7	197.8	9.7	19.5	23.2	60.5	160.0	199.4
	60.5	160.0	199.4	9.1	17.0	21.1	83.3	163.7	201.3	10.1	17.5	20.0			